

jus研究会沖縄大会



#UNIX歴史講座 #osc19ok

本日の資料は
こちらで公開します

<https://www.slideshare.net/hourin/>

もしくは
「slideshare 法林」で検索



法林 浩之



@hourin

- 日本UNIXユーザ会 幹事 (元会長)
 - さまざまなコミュニティとイベントを開催
 - 全国各地のイベントで研究会を開催
- フリーランスエンジニア
 - 最近はさくらインターネットの仕事が多い
 - TechLIONなど多彩なイベントを開催
- くわしくは「法林浩之」で検索

日本UNIXユーザ会 (jus)



[ホーム](#) [About jus](#) [入会/更新案内](#) [イベント情報](#) [運用研究会](#) [活動履歴](#) [会員ページ](#)

JAPAN UNIX SOCIETY SINCE
1983

[ABOUT JUS](#)

1983年設立
日本におけるUNIXや
OSSコミュニティの草分け

jus JAPAN UNIX SOCIETY NEWS LETTER
/etc/wall

1999 vol.4

jusの会報

主に活動報告を掲載

jus幹事が編集

設立当初から現在に至るまで継続

試合に至る経緯

- 昔の/etc/wallは紙媒体（現在はPDF）
- jus事務局に眠る古文書の電子化を推進中
- 作業中に/etc/wallが全巻発掘され電子化
- /etc/wallに書かれた活動記録を紹介することで、
当時のUNIX業界やIT業界の状況を伝えたい
- 35年分を一度に紹介するのは無理なので、
各回ごとに5年ぐらいの範囲を設けて紹介

おことわり

- 今日の内容は当時のIT業界のごく一部
 - jusの活動記録から見た当時の状況説明
 - jusの活動範囲外の出来事は載っていない
 - 時間の関係で割愛する話題も多い
- NGワード
 - (俺の思い出の)あの出来事が載っていない
 - なつかしい

昭和生まれの皆さんへ

発表内容の補足情報を
ハッシュタグを付けて
投稿してください

#UNIX歴史講座 #osc19ok

今回の対象時期

2000年代前半

2000-2004年前後の

/etc/wallから紹介

オープンソースまつり 2001 in 秋葉原 報告

法林浩之、りゅうちてつや、前田薫、佐藤智昭

日時 2001年2月10日(土)、11日(日)

場所 秋葉原電気街

2001年2月10日(土)～11日(日)、東京秋葉原の電気街において「オープンソースまつり 2001 in 秋葉原」を開催しました。日本のオープンソースソフトウェアの現状を見せるとともに、参加コミュニティ同士のつながりを深めることをも目的とするこのイベントは、1999年11月以来、2回目の開催となります。今回も、日本UNIXユーザ会、日本Linux協会、ぷらっとホーム株式会社の三者による共催となりました。

会場では、展示会、セミナー、BOF、ステージ発表などを行いました。2日間合計で約8000人の来場者があり、どの会場も多くの人でにぎわいました。これもオープンソースに対する関心の高さの現れだと思えます。

オープンソースまつり



日本のオープンソースコミュニティが
一堂に会した最初の展示会

オープンソースまつり

- OSSコミュニティが集まったイベントとしては日本初
- 1999年と2001年の2回開催
- 大量に赤字を出したので2回で終了
- 2002年に関西オープンフォーラム(KOF)、2004年にOSCが始まり現在に至る

セミナー

場所: ヒロセイイベントホール 5 階

オープンソースまつり展示会場と同じビルの 5 階では、セミナーが行われました。タイトルと講師の一覧を掲載します。

- 基調講演「次世代インターネット」：砂原秀樹 (日本 UNIX ユーザ会)
- 常時接続環境でのセキュリティ (OpenSSH の利用法等)：小池正仁 (日本 UNIX ユーザ会)

オープンソースまつりのセミナー(1)

- Perl による Web オートメーション：前田薫 (株式会社リコー)
- IPv6 を使ってみよう～USAGI と KAME～：松山直道 (株式会社創夢)
- Mew1.95 の概要：山本和彦 (株式会社インターネットイニシアティブ)
- 携帯情報端末と NetBSD – オープンソースを中心とする分散協調開発環境：蛭原純 (株式会社創夢)

オープンソースまつりのセミナー(2)

関西オープンソース+フリーウェア 2002

報告

法林浩之

日時 2002年12月6日(金)~7日(土)

会場 大阪産業創造館

2002年12月6日(金)~7日(土)の2日間、大阪産業創造館にて「関西オープンソース+フリーウェア 2002」が開催されました。その模様を報告します。

このイベントは、合い言葉が「開発者とユーザのコラボレーションを関西から!」となっていることからわかるように、オープンソースやフリーウェアの開発者コミュニティと一般ユーザとの出会いや交流を生み出すことを目的としています。 関西に活動拠点を置くコミュニティ、企業、大学などさまざまな組織が参加しての合同企画という形で進められました。jus も後援という形で参加し、運営にも積極的に関わりました。

会場では、展示会、セミナー、講演会、討論会、BOF、ステージなど多くのプログラムが実施され、2日間合計で約 1000 人の来場者がありました。以下、それぞれのプログラムの様子をご紹介します。

関西オープンフォーラム (関西オープンソース+フリーウェア)

- 関西のオープンソースやITコミュニティが集まるイベント
- 当初はオープンソースに加えてMacやWindowsのフリーウェアも対象とした
- 数年後に対象を「オープンソースとITコミュニティ」に変更したが、略称のKOFを維持し現在に至る
- jusが共催したのでオープンソースまつりに近い
- オープンソースだけでなくIT全般のコミュニティが定期的に集まるイベントとしては日本で初めて？
- 関東では2004年にOSCが始まり全国に広がる

第1回(2002年)のプログラム

- 展示会：企業やコミュニティなど大小17組織
- セミナー、講演会、討論会
- BOF (同好の士が集まって自由討論)
- ステージ (展示会場内でのトークショー)
- 2日間で約1000人の来場者

12月6日(金)

- セミナー「式神 + axLinux + DSPLinux ~ 現場の組み込み Linux~」: 竹岡尚三 (アックス)
- セミナー「フリーソフトウェアとそれを取巻く世界の状況」: すずきひろのぶ (ソフトウェアコンサルタント)
- セミナー「PostgreSQL の最新情報 ~ 最新版 7.3 の特徴と機能~」: 石井達夫 (日本 PostgreSQL ユーザー会)
- 討論会「フリーソフトウェアと政府/自治体 ~ デスクトップの自由化~」: 司会: 前田青也 (グッデイ) パネラー: g 新部裕 (産業技術総合研究所)、山本博之 (グッデイ)、須崎有康 (産業技術総合研究所)、大蒔和仁 (産業技術総合研究所)、比屋根一雄 (三菱総合研究所)、野首貴嗣 (凸版印刷)

12月7日(土)

- LHO monthly seminar
 - 「新たなソフトウェア開発の展開」: 青木淳 (SRA 先端技術研究所)
 - 「解蟹隣鹿 ~ コミュニティとの関わり~」: 樋口千洋
- 講演会「Ruby - Lightweight アプローチ」: まつもとゆきひろ (ネットワーク応用通信研究所)
- 講演会「フリーソフトウェア『じゅん』3次元グラフィックマルチメディアライブラリ」: 青木淳 (SRA 先端技術研究所)
- セミナー「はじめよう OpenSSH - 暗号化通信の基礎」: 宮原徹 (びぎねっと)

この中で特に注目が集まったのが、12月6日(金)に行われた討論会でした。折しも政府へのオープンソースソフトウェア導入が新聞などで取り上げられて話題になっていたこともあり、会議室がほぼ満席になるほどの参加

東海大勉強会 報告

山口 榮作

jus

TIC(Tokai Internetwork Council)

NLUG(Nagoya Linux User Group)

共催 大勉強会

日時：2000年5月13日(土) 13:00～17:00

会場：南山大学 瀬戸キャンパス

jus で一度に複数の勉強会を開催する、大勉強会を初めて開催したのは、東海地域なのですが、東海で久々

第一部: 全文検索システムの **Namazu** の舞台裏

講師: 野首 貴嗣(NLUG)

報告者: 工藤康博(名古屋電機工業)

日本語全文検索エンジンである Namazu の開発と経験を通じて、フリーソフトの開発がどのように行われているかについて講演くださいました。

はじめに Namazu の特徴について紹介がありました。Namazu は手軽に使えることを目指した日本語全文システムでフリーソフトウェアです。コマンドラインや Emacs 上から利用できるほか、CGI としても動作します。perl で書かれているインデックス作成プログラムと C で書かれている検索プログラムにより構成されています。plain text や HTML などのテキストベースの文書

Namazuの開発には定番と言われるツールを使用することにより、多人数による開発を破綻なく行ったり、国際化に対応するなどしています。最近オープンソースという言葉をよく耳にしますが、Namazuの開発体制はまさにオープンソースによるソフトウェア開発であり、今後ソフトウェア開発を行う人にとってよい手本となるのではないかと思います。

2000年前後はオープンソースが
新語として扱われていることがわかる

Yet Another Ruby/Perl Conference 19101 報告

法林浩之、佐藤晃洋

日時 2001 年 5 月 26 日 (土)

場所 (株) アスキー本社 B2 ホール

米国では毎年 Perl Conference が開催されており、日本でも昨年、2 回目の Perl Conference が Perl/Ruby Conference として開催されました。

しかし米国では、Perl Conference に対して「いつも西海岸で開催される」「参加料が高い」といった不満があるそうです。そんな中、東海岸で安い Perl Conference が「Yet Another Perl Conference ~YAPC(ヤップ・シー)」として開催され、以来、世界各地で YAPC が開催されていますが、日本では Ruby も対象に加え、「Yet Another Ruby/Perl Conference ~YARPC(ヤルプ・シー)」として開催しました。

YARPC 19101

- PerlとRubyを対象とするカンファレンス
- jusの行事としては、Perl Conference(1998年)、Ruby Workshop(1999年)に続く言語イベント
- 19101は、2000年問題に未対応のプログラムが2001年を迎えたときの表示
- 当時、Perlは全盛期、Rubyは流行前(Railsがまだない)、Pythonは存在すら知られていない
- YAPCは現在も各地で開催中
- jusの言語イベントはLLイベント(2003年-)に受け継がれる

Lightning Talks

これは米国 YAPC で人気のコーナーのスタイルを取り入れたもので、一人5分の持ち時間で何でも好きなことを話していいというコーナーです。テーマに制限は一切なく、Ruby/Perl 以外のことを話しても OK ですが、その代わり制限時間の5分が経過すると話の途中でもベルが乱打されて話は打ち切られてしまいます。今回の YARPC でも5分で話をまとめきれずにベルを鳴らされてしまう人が続出し、会場の笑い&拍手を誘っていました。

日本初のライトニングトーク開催

- 「Lightning Talks とは何か」 : 前田薫
- 「正規表現図解ツール Regex::Diagram」 : 前田薫
- 「RAA の紹介」 : 五十嵐宏
- 「Pure Perl な Excel ファイルの使い方」 : 川合孝典
- 「ダミアン・コンウェイ作の変なモジュール見い〜つけた」 : 台場圭一
- 「256 本シリーズの裏話」 : 助田雅紀

YARPC 19101のLT(1)

Lightning Talks

日本上陸

前田 薫 @mad_p

Tokyo.pm

2012/07/30 LL Decade Preparty

http://photozou.jp/photo/photo_only/299065/48487127

WildStrawberryDesign

日本へのLT伝来については
前田さんの発表資料が詳しい

<https://www.slideshare.net/KaoruMaeda/lightning-talks-13792958>

- 「Apache::Registry による CGI の高速化」：宮川達彦
- 「XML Schema 以外の何か with スクリプト言語」：高橋征義
- 「CGI.NET による Web アプリケーション開発」：早川真也
- 「プログラミング言語にみる世代間の断絶」：高林哲
- 「Ruby の多言語化対応」：まつもとゆきひろ

YARPC 19101のLT(2)

このとき初めて
高橋メソッド
によるプレゼン
が行われる

出典：<http://www.rubycolor.org/takahashi/takahashi/img0.html>

Lightweight Language Saturday 報告

法林浩之

主催 Light Language Saturday 実行委員会

日時 2003 年 8 月 9 日 (土) 10:00~17:00

会場 法学館 502AB 教室

毎日のログ整理、CGI プログラミング、ネットワーク管理など、簡単なことを手軽に、凝ったことでもそれなりに実現できるのが Lightweight Language(軽量プログラミング言語) です。今回、Perl, PHP, Python, Ruby コミュニティと jus が協力し、Lightweight Language が大好きな人達の集まりとして、「Lightweight Language Saturday」(通称: LL Saturday) を開催しました。

LLイベント

- Lightweight Language(軽量プログラミング言語)のコミュニティによるカンファレンス
- 2003年から毎年夏に開催
- 最盛期は1000人が参加
- 2000年代後半以降は各言語コミュニティ単体のカンファレンスがさかんに
- 現在はイベント名称をLearn Languages (複数の言語を学ぼう！)と再定義し継続中

☆パネルディスカッション: LL とオブジェクト指向について

Perl 宮川達彦 (エッジ)

PHP 藤本真樹 (TUNEBiZ)

Python 磯蘭水 (日本 Python ユーザ会/青山学院大学)

Ruby 中田伸悦

司会 小山哲志 (日本 UNIX ユーザ会)

オブザーバー まつもとゆきひろ (ネットワーク応用通信
研究所)

今回対象としている 4 言語は、オブジェクト指向に関して考え方も実装している機能もそれぞれ異なります。各言語の代表者の方々にその言語のオブジェクト指向機能について解説していただき、各言語の特徴を明確にするのがこのセッションの目的です。

LL とオブジェクト指向について
(2003年 LL Saturday)

◇ LL と blog

日本における blog の第一人者の方々にお集まりいただいて、LL と blog とについて議論していただきました。発表者は以下の方々です。

- はてなダイアリー：近藤淳也 (はてな)
- COREblog：柴田淳 (日本 Python ユーザ会/ウェブコア)
- tDiary：ただただし (tDiary)
- Nucleus：樋口理
- Movable Type：ひらただいじ (シックス・アパート)
- Bulkfeeds：宮川達彦 (ライブドア)
- 司会：小山哲志 (日本 PHP ユーザ会)

LL と blog (2004年 LL Weekend)
この頃からブログが普及

◇ LL を仕事に

LL を「商売道具」として堂々と胸を張ってを使うためにはどうすればよいかを議論するセッションです。このセッションでは事前にアンケートを取り、その結果を提示しながら参加者が自由に発言する形式で進行了ました。アンケートの設問は以下の4つです。

- Q1. あなたは LL を仕事にしたいと思いますか？
- Q2. 実際に LL を仕事にしていますか？
- Q3. LL を仕事にすることについての悩みや苦勞、あるいは LL を仕事にできない理由がありましたら、できるだけ具体的にお書きください。
- Q4. LL を仕事にすることについて参加者の皆さんに聞いてみたいことがありましたら、お書きください。

LL を仕事に (2004年 LL Weekend)

Q1,Q2 については集計結果の表を提示しました。結果から読み取れたのは、大半の人がLLを使って仕事をしたいと考えているが、現実にはまだLL以外の言語を使う仕事の方が多い、ということでした。また、Q3,Q4については回答をいくつかの話題に分類して提示し、議論の題材としました。提示した話題は以下の通りです。

- LL は、非 LL に比べて知名度/信用/理解がない？
- ソースコードの公開について
- 実行環境の導入/維持/保証について
- LL 仕事の市場と人材について
- Perl,PHP につづけ
- LL は仕事か趣味か、そして楽しいか

当時はLLを使う仕事は少なかった
(特にRubyとPython)

BSD/Linux Day 報告

法林浩之

日時 2001 年 12 月 7 日 (金)

場所 パシフィコ横浜 3 階 302 会議室

jus は、JPNIC 主催の「Internet Week」に毎年参加していますが、今年は BSD 及び Linux を中心とするオープンソースシステムに関する議論を行う場として「BSD/Linux Day」を開催しました。このイベントでは、単なる発表会ではなく参加者を交えて活発な議論を行うことに重点を置くために、各セッションとも前半 30 分を発表、後半 30 分を自由討論の時間としました。参加者は 210 名でした。以下、各セッションの様子を報告し

BSD/Linux Day

- Internet Weekにおけるjws提供試合として、2001-2003年に開催
- BSDやLinux、およびその上で動くソフトウェアについて議論するセッションを実施
- 1テーマにつき複数のソフトウェアを選び関係者を招聘

09:25-09:30 オープニング: 砂原秀樹(奈良先端大)

09:30-10:30 BSD(司会: りゅうちてつや)

- NetBSD: 蛸原純(創夢/The NetBSD Project)
- FreeBSD: 今野元之
- Darwin: 浜田直樹
- 自由討論

10:35-11:35 Linux(司会: のしろしげお(日本Linux協会/Debian Project))

- Debian: 鵜飼文敏(Debian JP Project)
- Vine: 松林弘治(Project Vine)
- カーネル: 高橋浩和(VA Linux Systems Japan)
- 自由討論

BSD/Linux Day (2001年)のプログラム(1)

12:40-13:40 Mail User Agent(司会: 石原丈士)

- Mew: 山本和彦(IIJ)
- mutt: 滝澤隆史
- Wanderlust: 寺西裕一
- Sylpheed: 山本博之(グッデイ)
- 自由討論

13:45-14:45 メール配送システム(司会: 小山哲志(ビートクラフト))

- Postfix: 荒木靖宏(Debian JP Project)
- Sendmail: 中村素典(京都大学)
- qmail: 前田敦司(筑波大)
- 自由討論

BSD/Linux Day (2001年)のプログラム(2)

14:55-15:55 Office Suite(司会: 砂原秀樹(奈良先端大))

- Open Office: 樋口貴章
- Just Arks: 徳山貴樹(ジャストシステム)
- K Office: 竹洞陽一郎(First&Fast;/日本KDEユーザ会)
- 自由討論

16:00-17:00 他のOSとの連携(司会: 前田薫)

- VMWare: 大江将史(奈良先端大)
- Samba: 太田俊哉(NECソリューションズ/日本Sambaユーザ会)
- PEACE: 田村健人
- 自由討論

17:00-17:05 クロージング: 小山哲志(ビートクラフト)

BSD/Linux Day (2001年)のプログラム(3)

2001 年度総会併設セミナー報告

法林浩之

「IPv6 を使ってみよう ～USAGI と KAME～」

講師 松山直道 (創夢)

日時 2001 年 7 月 13 日 (金)

場所 労働スクエア東京

jus は毎年、定期総会の併設イベントとしてセミナーを行っています。今年度は BSD や Linux のユーザが IPv6 を使うために必要な知識、特に BSD における IPv6 実装である KAME と、Linux における IPv6 実装である USAGI の利用法を解説するセミナーを行いました。

IPv6

- IPv4アドレスの枯渇を予測して、次世代のインターネットプロトコルとして策定
- 1995年に最初のRFC発行
- KAME：BSD系UNIX用の参照実装
 - 活動期間：1998-2006年
 - <http://www.kame.net/>
- USAGI：Linux用の参照実装
 - 活動期間：2000-2006年
 - <http://www.linux-ipv6.org/>
- IPv6自体の普及は2010年代以降

第 122 回 jus 勉強会報告

個人情報保護法がやってくる！ ヤア ヤア ヤア！

講師：太田敏文

所属：株式会社タイムインターメディア

リスク管理室 室長

日時：2004 年 5 月 25 日 (火) 19:00-21:00

場所：BIZ 新宿 (新宿区産業会館) 研修室 A

2005 年 4 月 1 日の完全施行まで 1 年を切った「個人情報保護法」について、技術者の論理的なスキルの問題として抑えておくべき法律的な情報と、各種対策等を、タイムインターメディアの太田さんにご紹介いただく勉強会を企画しました。相次ぐ情報漏洩事故報道による意識の高まりを背景に、技術者を対象にした実際的なかつ初

プライバシー対応が社会問題に

総会併設セミナー 報告

法林浩之

「セキュリティ最近の話題と JPCERT/CC の役割」

講師: 白橋明弘(ネットワンシステムズ(株)、
JPCERT/CC 運営委員)

日時: **2000**年7月6日(木) **14:15-16:30**

場所: 新宿・トーニチホール

jus では毎年、定期総会の後でセミナーを開催しています。今年は、JPCERT/CC(コンピュータ緊急対応センター)運営委員の白橋さんをお招きし、最近のセキュリティ関連の話題と、JPCERT/CC の役割について講演し

後半は、JPCERT/CC の役割の紹介と、JPCERT/CC への問い合わせを分析して得られた、最近のコンピュータセキュリティインシデント(歓迎すべからざる事象)の傾向について解説されました。

セキュリティインシデントは、システムの弱点探査、侵入、踏み台や中継への利用、運用妨害などに分類されます。標的となるサービスとしては Web サーバが圧倒的に多く、他には FTP サーバやメールサーバがあります。攻撃手段として、最近は Buffer Overflow を利用したものが多いとのことでした。

「インシデント」は当時まだ一般的な言葉ではなかった

分析に基づく情報提供を行っています。セミナーでは、これらの情報の中から最近のインシデントの傾向を紹介されました。よく攻撃されるのがメールサーバとWebサーバであり、特に最近ではimapdへの攻撃やSPAMメールの不正中継が多いこと、その半数以上はサイト側で自主的に検出しJPCERTに報告しているが、実際にサービスが停止してから報告が行われた例も少なくないこと、などが紹介されました。

当時はメールサーバと
Webサーバが主な標的

第 86 回勉強会報告

Mac OS X はコンシューマー向け UNIX

最大勢力になるか？

講師：佐藤 徹、花原 良宏 (NeXT ユーザー会)

日時：2001 年 6 月 25 日 (月) 18:00-20:00

会場：大阪・旅のセミナールーム

今回の勉強会は、最近発売された MacOS X をテーマに取り上げました。MacOS X は BSD をベースに作られており、したがって現在稼働中の Mac がすべて MacOS X に置き換われれば、台数ベースでは UNIX 系 OS の中で最大勢力になります。講師は、NeXT ユーザー会の佐

Mac OS X (現在の macOS) が
この時代にリリースされる

第 76 回勉強会報告

Linux の中で使う Windows

～VMware で仮想 PC を使ってみよう～

講師： 小池 正仁

日時： 2000 年 9 月 6 日 (水) 18:30～20:30

会場： 丸正ホール・大会議室

今回の勉強会は 6 月に予定されていたながら、講師の小池さんの急病で中止になったもののリベンジです。

今回のテーマは「VMware」という仮想マシンエミュレータです。VMware は Linux 上で通常のアプリケーションソフトとして起動します。そのソフト上には、よくある PC コンパチ機ができあがります。その仮想マシン上で、例えば Windows98 をインストールし、Excel を動作させることが可能です。最近よく話題にのぼるエミュ

VMwareなどの仮想化ソフトウェアが登場

2000年代前半のまとめ

- オープンソースの概念が広まった時代
- 各地にOSSコミュニティ(主にLinuxユーザーコミュニティ)が立ち上がった時代
- FreeBSDとLinuxの勢力が拮抗していた時代
- スクリプト系言語が勢力を拡大した時代
- IPv6の基礎が確立された時代
- 仮想PCが使われ始めた時代

今後の予定

6/1(土) OSC北海道
1990年代前半編

その後も各地で開催予定

皆さんに

お伝えしたいこと

今の流行技術も
20年後には
歴史講座の題材

今すぐこの時代の
まとめを作る必要はない
でも今を記録に残すことは
やっておいた方がいい

他の年代の資料も
こちらで公開中

<https://www.slideshare.net/hourin/>

もしくは
「slideshare 法林」で検索

ありがとうございました



つづきは懇親会で！